



## 夢をつくろう ZERO キッズ

世代をこえて 言葉をこえて すべてをこえて・・・

ZERO キッズは、1993年のなかのZERO大ホール開館記念事業をきっかけに生まれてから14年目となりました。よくもまあ続いたものです。なぜ続いたのか考えてみると、この生きづらい時代にあってなぜかここには善意が集まってくるからです。その善意を引き寄せて集めているのはこどもたちです。こどもの持つ力と、それに加えてアートの持つ力と言っていいでしょう。

2006年度はミュージカルのような大きな舞台は持たずに、「交流」をメインテーマとして外に出る活動を多く展開しました。キッズのオリジナル曲や日本の歌、わらべうた遊びを出前しました。こどもたちにとっては、目の前のおじいちゃんやおばあちゃんが嬉しそうに、時に涙を流してくださることは驚きでもありました。また保育園の小さな子たちが、キッズのダンスに合わせて楽しそうに一緒に踊る姿にも感激しました。自分の好きなことを一生懸命やることで、他の人を幸せな気持ちにすることができる、誰かの役に立つことができる・・・小さな体験を積み重ねていくうちに、こどもたちの意識が少しずつ変わってきたような気がします。それは、年度末に行った「キッズミュージアム」の時にも現れていました。自分たちが楽しむだけでなく、自分たちが楽しみながらもお客さんをどうやって楽しませるかということをよく考えていて、キッズ企画のキッズコースターも、ミステリーマンションも、遊園地も、たくさんのお客さんが楽しそうにしていたのは、キッズのこどもたちのそんな気持ち（ホスピタリティマインド）が感じられたからだと思います。

長年にわたり活動を共にしてきた長倉さんの他界という悲しい出来事もあった年でしたが、大きなショックも仲間と共に乗り越えつつあるようです。今、彼女は見えない翼となってZEROキッズを見守ってくれていることと思います。

ZEROキッズを支え応援して下さるたくさんの皆様への感謝の気持ちをこめて、ZEROキッズ2006アニュアルレポートとしてご報告いたします。

2007年5月 代表 佐々木 香



2006年のZERO キッズは、表現とコミュニケーションのワークショップを中心に、和のワークショップ、クレイアニメのワークショップなどさらに新しい世界を探求しました。こどもたちが創るこどもの居場所としての「キッズミュージアム」も文部科学省委託事業地域子ども教室や中野区公益活動助成事業として展開。年間活動日数70日、400時間を優に超す活動の主なものをご報告します。

## 表現とコミュニケーションのワークショップ

(子どもゆめ基金助成活動)

### ■歌

### ■ダンス

- ・ジャズダンス
- ・ヒップホップ

### ■パントマイム

### ■演劇

### ■音楽・音あそび

### ■手話

### ■絵画・造形



様々な表現を体験して  
自分を表現する方法をみつけます。  
仲間と一緒にするのは楽しい!



## <表現とコミュニケーション>

### ■いろはのい (小4まで)

まずは五感をいっぱい使って感じることから始めます。聴くこと、視ること、触ること、匂いをかぐこと、味わうこと。自分の身体を自分で動かせるように、緊張と脱力、開放、そして自分と他者への信頼まで、楽しい活動の中から学びました。(講師：高橋悦子)



### ■基本のき (小5以上)

目標は、自分で考えたことを自分の言葉で(表現で)伝えることができることです。素直に、そして自信を持って話せる、表情豊かに、気持ちをこめて。

挨拶の基本、自己紹介、スピーチ、人の話を聴くこと、人間関係とコミュニケーションのことなどをコミュニケーションゲームや様々な演習を通して学びました。

(講師：三好良子)



## 和のワークショップ

- 歌舞伎の立ち回り入門
- 浴衣の着付け
- 日本の歌
- 日本舞踊入門
- 能体験（東中野 梅若能楽堂）
- 百人一首

新春百人一首の会



2006. 12. 10 梅若能楽堂で

浴衣もしっかりと自分で着られるようになりました。和の立ち居振る舞いも学びました。地域にある能楽堂に初めて入り、本物の能舞台での謡・舞も体験。百人一首では、和歌の意味や時代人物の理解も深めながらチーム戦の源平カルタ会を楽しみました。

## 地域交流

前述の「表現とコミュニケーションのワークショップ」や「和のワークショップ」を活かして、今年は主に「日本の歌」をテーマに地域交流を行いました。乳幼児から高齢の方まで、いろいろな世代の方と歌を通して交流ができました。「ずいずいずっころばし」などのわらべうた遊びや、手遊びも好評でした。中野を離れて合宿先の常陸大宮市でも、たくさんの出会いを経験しました。

- ・多田ダイケアセンター（7/26）
- ・茨城県常陸大宮市と地域間交流
  - 星まつり（7/29）自然体験（7/30）特別養護老人ホームみわ訪問（7/31）
- ・オアシス鍋横ミニデイ（8/17）
- ・中野まつり（10/7）
- ・アンサンブルまつり（11/11）
- ・本町保育園親の会主催クリスマス会（12/3）
- ・ママほっとルーム5周年クリスマス会（12/16）
- ・ありがとうコンサート（3/31）



7月 特別養護老人ホームみわで



歌で交流できるのがキッズの強み  
浴衣姿での日本の歌とわらべうた遊びが好評でした。  
日頃の表現のワークショップの成果が発揮されます。

## 四季の自然体験

(子どもゆめ基金助成活動)

合宿が大好きな子どもたちは、できることなら年に何回も合宿に行きたいそうです。2006年度は、四季の自然を意識して4回の活動を行いました。

夏のやまびこ合宿は、星祭り参加や地域交流の他に、火起こしや竹の楽器づくり、野菜の収穫体験、バーベキュー、星空観察と盛りだくさんの自然体験でした。

冬の雪んこ合宿は暖冬で富士山にも雪が少なく予定したスノーシュートレッキングができず、みんなで双子山登山をしました。

- ・春の野川で音遊び (5/14)
- ・やまびこ合宿 (7/29~31)
- ・秋の自然でアート (10/15)
- ・雪んこ合宿 (2/17~18)



**春**

野川公園



**冬**



御殿場

国立中央青少年交流の家



**夏**

茨城県常陸大宮市

**秋**

石神井公園

## 「心のちから」(文部科学省委託事業)

中野区家庭教育支援総合推進事業実行委員会に事業協力して、大人の学習会も開催しました。

	テーマ	日にち	講師
1	食育を考える	6/24	大村直己 氏 (食育コーディネーター)
2	思春期の心	7/22	井口由美子 氏 (警視庁 臨床心理士)
3	「香り教育」を知っていますか?	10/22	中村弥和 氏 (ハーブコーディネーター)
4	こども・まち・アートのカ	11/12	中埜博 氏 (コミュニティデザイナー) 山口敦氏 (都市計画コンサルタント)

クレイアニメのワークショップ

(文部科学省委託事業 文化体験プログラム支援事業)



こどもたちの作品：「森の学校」



★前期スケジュール★

	日時	テーマ
1	7/24 (月) 13~15	大きな紙に思い切り描こう!
2	8/25 (金) 10~15	クレイアニメのワークショップ 1
3	8/26 (土) 10~15	クレイアニメのワークショップ 2
4	8/27 (日) 10~15	クレイアニメのワークショップ 3
5	9/23 (土) 13~15	声優に挑戦 1 ナレーション入門
6	9/24 (日) 13~16	声優に挑戦 2 アフレコ入門

★後期スケジュール★

	日時	テーマ
7	11/19 (日) 10~12	音職人の技! 音をつくろう! ~効果音はこうしてつくる~
8	11/19 (日) 13~15	録音 (みんなで作った音を録音)
9	11/23 (木) 10~15	クレイ粘土でアニメーション
10	11/23 (木) 13~15	編集ワークショップ
11	12/23 (土) 10~12	中間試写会
12	1/14 (日) 10~16	テーマ曲をつくろう! その1
13	1/25 (日) 13~16	テーマ曲をつくろう! その2
14	2/25 (日) 10~12	完成上映会

<講師>

クレイアニメ：矢田美帆、阿部暁子  
渡部瑞穂

造形表現：高橋悦子、長谷部暢子  
ナレーション：和田カヨ(ナレーター)  
アフレコ：下和田裕貴(声優)

川原慶久(声優)  
音響・パソコン：野口博士、山口敦  
効果音：大和定次、池田邦太郎  
作曲：谷川賢作、深堀瑞穂、渡辺和美

7月から2月までかけて、クレイアニメーションの映像作品をつくりました。

粘土でキャラクターを作り、動かしながら撮影し、ナレーションやアフレコも自分たちで入れました。効果音やテーマ音楽もつくり、パソコンでの編集作業もしました。普段は出来上がった映像作品しか見ていませんが、こんなにもたくさんの人の力で出来ている、そしてそれに関わる大人たちの真剣さも知る機会になりました。



こども・まち・アート交流見本市「キッズミュージアム2007」

2007.3/24～25 なかの ZERO 西館美術ギャラリー

(中野区公益活動助成事業)

春休みの3/24(土)、25(日)の二日間、  
なかの ZERO 西館美術ギャラリーが、ファンタジックな空間に変身！  
これは、ZEROキッズの夢である「チルドレンズ・ミュージアム」実現へ向けての第一歩。  
こどもたちの、こどもたちによる、こどもたちのための拠点。

**いろいろなことを体験し、表現活動もできる場。**

**遊びながら学べる場。**

**子どもの居場所であり、同時に大人の居場所でもある場所。**

そんなチルドレンズミュージアムを中野にもつくりたい、という私たちの夢を仮設で具現化してみました。

様々なNPO、団体のブースやワークショップ、キッズカフェ、演劇ワークショップ、「こども・まち・アート」フォーラム、クロージングライブ、と続いた夢のような二日間。11月からプランを考え、設営作業にも5日間を使った「夢のキッズミュージアム」はこどもたちの心に、大人の心に、たくさんの夢や思いを残して、その姿を消しました。



キッズカフェ



パントマイムの  
パフォーマンス

大人気の  
キッズコースター



「こども・まち・アート」フォーラム



ワークショップのブース

50以上の団体や企業が様々な形で  
参加、協力してくれました

子ども放送局※ 外部出演



- ・チャレンジ教室：止まれ！手力の威力  
手作り楽器で音を楽しもう！  
宇宙の大きさを感じてみよう！
- ・夢スタジオ：音楽と言葉のコラボレーション
- ・虹色玉手箱：子ども特派員報告
- ・レッツオープンザドア あどちゃんのイラスト教室（10回）  
子ども放送局寄席（19年度分）



※子ども放送局は、文部科学省の施策として平成11年度より発足した事業で、子どもの体験活動等の普及啓発を広く図ることを目的として、全国の社会教育施設や学校を結ぶ教育情報衛星通信ネットワークシステム（エル・ネット）を利用した子ども向け放送です。独立行政法人国立青少年教育振興機構が放送しています。

- ・その他 ビデオ、映画出演等

平成18年度収支報告

（単位：円）

収入の部

1. 会費収入	2,681,000
2. 事業収入	2,201,236
3. 補助金等収入	2,735,000（子どもゆめ基金、中野区公益活動助成金）
4. 寄付金その他	197,738
収入合計	7,814,974

支援会費	3,000円／年
運営会費	5,000円／月

支出の部

1. 事業費	4,576,602
2. 管理運営費	2,774,238
支出合計	7,350,840
（次期繰越収支差額）	464,134

<事業協力>文化体験プログラム支援事業 896,854 円  
中野区家庭教育支援総合推進事業「心のちから」415,984 円

## 出版物



No.		種類	出版社（発売元）	価格	備考
1	子どもたちと創る 地球ファンタジー 海のふ・し・ぎ ミュージカル	楽譜	音楽之友社	¥1,575	
2		CD	ビクターエンタテインメント	¥3,150	楽譜準拠 カラオケ付
3		DVD 2000年公演	ZERO キッズ	¥5,000	
4	子どもたちと創る Space ファンタジー そらのふ・し・ぎ ミュージカル	楽譜	音楽之友社	¥1,890	
5		CD	ZERO キッズ	¥3,675	楽譜準拠 カラオケ付
6		CD	ZERO キッズ	¥1,000	3曲入り カラオケ付
7		DVD 2005年公演	ZERO キッズ	¥5,000	
8		公演パンフレット	ZERO キッズ	¥500	
9		メイキングビデオ	ZERO キッズ	¥3,000	2003年公演

## 2006 年度運営体制

理事長 佐々木香

理事 小山郁子 倉橋文子 長倉鈴恵 監事 小山健 鈴木美佐子

運営委員 能勢美香 長瀬涼子 斉藤ひろみ 丸山紀子 亀岡文江 川田冬紀 倉田恵美  
沼田澄子 嶋田恵美

## 外部講師（ご指導いただいた先生方 敬称略 あいうえお順）

相原郁美 赤星啓子 阿部暁子 淡野保昌 井口由美子 池田邦太郎 石田尚美 牛村和夫  
太田富夫 大多和勇 大村直巳 川原慶久 北見靖直 小林隆 小林麻衣子 斉藤睦 下和田裕貴  
城谷小夜子 関根秀樹 高橋悦子 谷川賢作 柄田明美 坪能克裕 鳥越けい子 長倉徹 中埜博  
中村弥和 能見広伸 野口博志 長谷部暢子 深堀瑞穂 水森亜土 三好良子 目黒実 矢田美帆  
山口敦 大和定次 和田カヨ 渡辺和美 財団法人梅若会 手話サークル「萩」

特定非営利活動法人 ZERO キッズ

〒164-0012 東京都中野区本町 5-27-3-103 Tel & Fax 03-5385-9068

Eメール info@c-c-cnet.org URL http://www.c-c-cnet.org

